

第 1 章 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}/\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ とは

1.1 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ とは

$\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ とは Donald Knuth により開発された組版システムである.

1.2 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 処理系

$\text{upT}_{\text{E}}\text{X}$ は内部コードを Unicode にした $\text{pT}_{\text{E}}\text{X}$ の拡張である.

1.3 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ とは

$\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ とは Leslie Lamport により開発された $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のマクロである.

1.4 補遺

1.4.1 $\epsilon\text{-T}_{\text{E}}\text{X}$ について

実は, $\text{upL}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ を起動したときに実行されるのは, 元々の $\text{upT}_{\text{E}}\text{X}$ とは少し異なる $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 処理系である.

コマンドラインで `uplatex` を実行すると, 次のメッセージが出力される.

```
This is e-upTeX, Version 3.141592653-p3.9.0-u1.27-210218-2.6 (utf8.uptex) (TeX
Live 2021/W32TeX) (preloaded format=uplatex)
restricted \write18 enabled.
**
```

本書では以降, $\epsilon\text{-T}_{\text{E}}\text{X}$ 拡張の有無についてはいちいち断らないことにする. すなわち, $\text{upT}_{\text{E}}\text{X}$ と言ったら $\epsilon\text{-upT}_{\text{E}}\text{X}$ を指すものとする.